



平成27年度「建設労働災害防止大会」を開催しました

飯豊山系砂防事務所工事安全協議会が、建設現場での事故防止に向けて、安全を再確認！

飯豊山系砂防事務所工事安全対策協議会（構成：飯豊山系砂防事務所及び事務所発注工事等受注者）では、建設労働災害の撲滅と安全意識の高揚を図るため、10月20日に小国町の「おぐに開発総合センター」において「建設労働災害防止大会」を開催しました。

大会には、来賓等4名、事務所職員12名、工事等請負者19社32名の計48名が参加し、現場での事故防止について再確認しました。

大会へは来賓として、米沢労働基準監督署長、小国警察署地域交通課長にご出席いただき、米沢労働基準監督署長からは山形県内の労働災害の発生状況を、小国警察署地域交通課長からは実際に発生した事故事例を踏まえ、労働災害防止や交通事故防止に関わるご挨拶を戴きました。

また、副会長より本年の北陸管内工事事故の発生状況や傾向について説明し、度重なる災害発生に対し、店社として安全対策を行う必要性を訴えました。

そして、会員代表（小国開発（株）の齋藤氏）より、「安全宣言」が読み上げられ、建設現場での事故防止に向け更なる安全対策に努めて行くことを、出席者全員で確認しました。

大会後半は『講演会』として、山形地方気象台の予報官より「大雨による災害から身を守る～気象情報の活用～」をテーマにお話戴きました。最近の気象状況から会場内の参加者は興味深く聴いてました。



安全宣言



米沢労働基準監督署長挨拶

小国警察署
地域交通課長挨拶



労働災害発生状況等について
（副会長）



気象台予報官の講演



会場の様子